

アイの四季だより

アイセレモニー株式会社

相談室 三水村普光寺969-1 (高野農機様となり)
 営業本部 ☎026-253-1377 FAX253-1378
 飯綱ホール 牟礼村黒川2415 ☎253-1377
 五岳ホール 信濃町古間93 ☎251-7155
 花環工房 長野市吉田4-15-22
 ☎026-252-6311 FAX252-6322

牟礼村 三水村 信濃町 豊野町 長野市 ———— 皆さまのお手もとへお届けいたします

フリーダイヤル ☎0120-796-311

いま「スローライフ」が 静かなブームですって？

環境破壊を促進させる経済効率最優先を否定し、自然との共生でゆつくりと歩み、健康体を取り戻す生き方。自然に逆らわないもの食すスローフードとともに、いま進行中。

信濃町は多彩な人種が棲息しています。野尻湖、黒姫山麓には昔から別荘や国際村が拓けていて、軽井沢に次いで全国的に知名度が高いためです。

柏原地区赤波の山中に、喫茶お食事処「ペーニャ苗圃」あり。知る人ぞ知る。というより知らない方が多い。オーナーうえむら一彦氏。コンドルは飛んでいく。でお馴染みのフォルクローレ演奏家。

この人も多彩なひとりで、名古屋出身。学生時代東京。七〇年アンボ最中、同級生の奥さま(好子様)と音楽にはまる。奥さまは合唱でカチューシャなどロシア民謡。一彦氏はその指揮者というから、ドラマだねえ。音楽とともに歩み続けて、二十年。学生時代、お二人は登山で信州に。人との出会いがあつて縁が出来て、この素晴らしい「居」ここのいい信濃町に二四年前から棲息。

その後、グループ・ラグーナペルデ結成。県内各会場で演奏活動開始。昨年、グループ結成十五周年を記念してCDを発表するなど、目覚ましい活躍ぶり。

フォルクローレは、ケーナ、サンボニーヤなど独特な音色を奏でる風の楽器という。その風の音のルーツを訪ね、風を体に染み込ませるために南米のペルー、ボリビアへ。九〇年、九八年、九九年の三回も。のめり込んだら止まらない性格は、九九年十二月から自店で毎月一回ライ



「コーヒーは南米の豆を使うこだわり。おすすめは「山賊ビザ」
 うえむら一彦氏いるラグーナペルデ
 ライブステージは民族衣装で▼



びょうほ
 ペーニャ苗圃
 ☎ 255-5964
 11:30~10:00 木曜休み
 信濃町柏原1862-1
 ★ライブコンサートは
 電話でお問い合わせを

ブコンサートを開くことになった。ライブはフォルクローレ以外にもジャズ、ブルースなどいろいろなジャンル。

社会生活のなかで冠婚葬祭は、人生のなかで幾度となく体験します。なかでも予期しない突然の出来ごととして、極めて不案内なのが「葬儀」です。

まかせてよかったワ を励みに.....

た使命です。
 一葬儀は、社会生活で接する最も厳粛な儀式といわれます。お寺さまの宗派や僧侶の作法にもお応えし、地域のしきりたりなど慣習にも配慮が必要ですから、当社は専門会社として、その重要な責務を果たすために、スタッフ全員日夜研鑽を重ねて

おります。
 専門のプロ集団として、どのような要望にもお応えし、特に低価格で地域の皆さまに「奉仕すること」を社是とし「安心して、まかせられる」のお声を励みに努めております。
 アイセレモニー(株)
 代表取締役社長 大岡敏久

葬祭専門 プロ集団



ブルのバンドを招いて、狭い店内は足の踏み場もないほど、いつも盛況。奈良から新幹線で日帰りの人も出現。演奏家は、ふつう指を大切に。力仕事なんて、とんでもない。ところが、この人は違う。楽器は何でも奏けるプロ中のプロにもかかわらず、力仕事する、畠仕事する。手は豆だらけ、体キズだらけ。さらに「コーヒー」煎れる、料理つくと、多彩なアー

チスト兼マスター。
 バリ島で、草採つてたおじいちゃんに道を尋ねた。夜のライブハウスでそのおじいちゃん演奏家だった。民族音楽に限らず、芸術は暮らしとともに歩み、自然と共生する。
 「身の回りには音楽があつて、人との出会いがあつて。その織りなすなかで、生かしてもらっている」と。うえむらさんは謙虚にスローライフを、おう歌している。



葬儀担当者の
 葬儀の世界に長い間いると、いろんな事に遭遇します。そんな中でもかなりトホホな話をひとつ。
 ある日、一人暮らしのおばあさんが亡くなりまして、葬儀の依頼を受けました。娘さんが喪主をするというので、現場にてお待ちしておりました。ところが娘さんの嫁ぎ先(嫁ぎ先と言っているのか?)がなんと〇×組の幹部様でありまして、それから一時間後、小さな借屋の

それでも、何とか段取りを終え、すこし上ずったお寺様の読経の中、なんとか葬儀が終わりました。そして集金等も無事終了しましたが、私の耳の中には、祭壇の回りの生花を並べている時に背中越しに言われた、「花びら落とさん様に動かさんかい!!」がいつまでも響いていました。
 その後、盛り場を歩いていると、「この間はお疲れ様でした!!」と例の若い衆に声をかけられ.....



回りはドイツ製の高級車に囲まれ、私達もその持ち主に囲まれ、葬儀の打ち合せをさせられる事になりました。
 その後、通夜、祭壇の飾り付けなどしましたが、そのたびに若い衆が「お手伝いします!!」と何人も寄ってくるので.....

※ペーニャとは、南米でライブハウスのこと。 苗圃(びょうほ)とは、苗木を育てるところ。

シリーズ名刺をたずねて

風雪八百余年の歴史

曹洞宗 斑尾山 苔翁寺

三水村

苔翁寺は鼻見城山(七三三M)の麓、その眼下に三水村役場が見え、続いて見渡す限りのどかな田園風景が広がり、その眺望はまさに絶景。燦爛と降りそそぐ陽射しを浴びたならかな南斜面には、苔翁寺霊園が整然と鎮座して、ちょうど寺の懐に抱かれた格好で、ご先祖様はまことに賢く、まさにこれが極楽浄土か。

寺歴によると、当寺は恵山阿闍利により開山。文治二年(一一八六)平安時代後期、鎮守府將軍安房守頼行の孫、芋川弥治郎兼定の開基により、真言宗善福院として芋川城下の当地に建立(ごんりゅう)。なんと、今から八百余年も前のことです。

室町時代の後期、元龜二年(一五七一)芋川越前守正親により、芋川氏の菩提を弔うため堂宇が再建され、水内郡吉田村の天周院二世天室賢隆大和尚を招き中興開山。曹洞宗に改

め、苔翁寺と改称す。墓は現堂宇の北側にある。

江戸時代の寛保四年(一七四四)一世逸宗学超大和尚により、現在の地に緒堂が建立され、その十年後の宝暦五年(一七五五)江戸において金一、二〇両で大梵鐘(おおほんしゅう)鑄造。さらに寛政十年(一七九八)十五世大牛白輪大和尚の時、庄屋村上五兵衛ほか檀中芋川村の総力により、近隣に比類のない立派な「山門」が完成し、現在に至ります。



お葬式いくらかかるの？
.....にお答えします

ホール葬 (飯綱ホール・五岳ホール)

- ・Rコース 250,000円 (会員価格 200,000円)
- ・Aコース 295,000円 (会員価格 245,000円)

※B~Dコースまでございます。

自宅葬/寺院葬

- ・Aコース 118,000円 (会員価格 68,000円)
- ・Bコース 178,000円 (会員価格 128,000円)

※Cコースまでございます。

上記以外に、火葬料 霊柩車料 ドライアイス 遺影 返礼品 供物 お斎(料理) 別途必要です。

地域の皆さまのご支持を頂き、おかげ様で開業五年目を迎えさせていただきます。

この度、多様化するニーズにお応えして、ホール葬のコースにリーズナブルなRコースを追加して全5コースといたしました。

また、アットホームな雰囲気の家葬、荘厳な寺院葬、近年増えてま



●本尊=釈迦牟尼佛(木造)
●寺宝=象山直筆の屏風、江戸中期の観音像、天正年間作の茶釜。一休禅師直筆の書など
・場所=三水村芋川397 電話 026-253-3566

二百年前、江戸時代の山門が今もその威容を誇っているのです。この頃、小林一茶は三〇歳ぐらいで、西国地方を巡歴。その二〇年後の五〇歳を過ぎてから故郷柏原に安住。そんな時代でした。

さて時代は二十一世紀を迎え、先代の二十五世住職の発願により、二十六世現住職代、平成十五年落慶を目指して、木曾檜を主要材とした本堂を現在建立中です。すでに外観は仕上がり、まばゆいばかりに輝いて、この秋に落成式とのことです。御檀家様、地域の人々の総力結集の姿で

すが、現住職のお人柄に大きな期待が込められていて、この本堂建立は功德の表われでしょうね。

「カチチは出来た。これから中味をつくる。住職の力強い言葉です。それにつけてもお寺の住職って、たいへんなお仕事ですね。」「.....」と言われると、たいへんなことだと思っちゃう。でも、たいへんだと思わないことにしている。「仕事としての考えでなく、住職の任務、お勤め」として精進すること。「期待に応えるべく」と、うーん。われわれ凡人とはやっぱり違う。

いりました密葬などにも対応いたしております。料金は上記の通り、ご奉仕料金にてご用意にお応え申し上げます。

葬儀費用の軽減などのご相談もお気軽にどうぞ。さらに地域サービスに全力で取り組んでまいります。

アイセレモニー(株)
専務取締役 高橋幸俊

お近くです・便利です

第一スーパー牟礼店 第二駐車場 真ん前

[相談室 開設]

アイセレモニー 智の会 事務所 営業本部 伴設

三水村普光寺 ☎253-1377

チヨッコのお耳を

知って得る 情報

「存じの方も多いと思いますが、信濃町には、葬祭具の貸し出しを扱っている町区があります。祭壇、お棺、葬具の用具が揃えます。さて、それ以外の必要な物はどうし

その時、どう対処すれば、慌わちやっつて頭の中は真白に、何も知らないんだから。

特に近頃は葬儀に係わる関心ごとが高まってまいりました。気軽に相談できる場所、教えてもらえるところないかしら。のこ要望にお応えして、この度アイセレモニーでは「相談室」を開設いたしました。

安心とゆとりをテーマの「智の会」事務局も併設してあります。入会するしないにかかわらず、種々ご相談に応じておりますので、お気軽にご利用できます。

「ご相談で一番多いのは葬儀費用についてです。その時に、いったい

ましよう。

大丈夫。アイセレモニーに電話一本、残りのすべてが間に合います。霊柩車、返礼品、供物、お斎、各宗派に合わせたの進行、場合によってはお斎会場としてのホールの使用も可能です。

「全部頼まないやっつけてくれないんじゃないの?」そんな事はありませんよ。あちらを立てればこちらが立たず、がよくなる葬儀の世界。うまく使えば、義理も立って気持ちも楽々です。